

eラーニングの導入と 利用の手引き



金沢電子出版株式会社
2014-3-26

本セミナーの目標



- eラーニングのことを少し理解する
- eラーニングシステム(moodle)を少し体験する
- eラーニングを**授業に使ってみたくなる!**



2

本セミナーの内容

17:30開始

- eラーニングの基礎知識 [10min]
- moodleの基本的な使い方 [15min]
- moodleの体験実習 [50min]
- 意見交換 [15min]

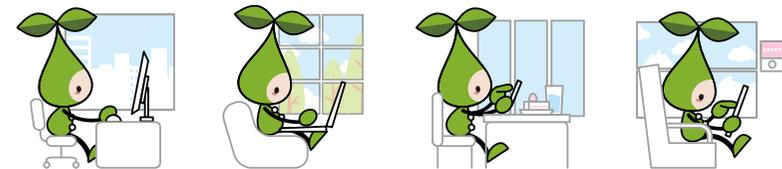
19:00終了



3

eラーニングの基礎知識

- eラーニングの（よくいわれている）特徴
 - ✓いつでも
 - ✓どこでも
 - ✓なんどでも



4



教員側のメリット



- 学生の学習状況を**把握**できる
 - ✓ アクセス状況（いつ，どこから，何を）
 - ✓ 学習状況（学習時間，課題提出，質問）
 - ✓ 成績管理（提出課題の評価，テストの採点）



5

教員側のメリット



- デジタルコンテンツとして**管理**できる
 - ✓ 画像や映像などの資料や確認問題などの管理を全てシステムにお任せ
 - ✓ 学生の提出物や成績もシステムで管理
 - ✓ 類似講義や次年度講義にも再利用可能



6

教員側のメリット



- 複数のクラス，複数の教員と**協同**できる
 - ✓ 類似講義や次年度講義への再利用が容易
 - ✓ 複数教員やTAの講義参加が容易
 - ✓ 同分野の教員と講義コンテンツをシェアできる



7

コンテンツの種類（解説など）

- HTMLページ
- ワードやPPT，PDFなどのファイル提供
- 動画の配信



8



コンテンツの種類（テストなど）

- 確認テスト
- アンケート
- フォーラム（掲示板）
- レポート課題



9

eラーニング導入例（自習用）

- 講義音声（ビデオ）＋確認テスト
- 資格試験や知識定着のための繰り返し演習
- eラーニングのみで完結も可能
- 長期休暇や休講時にも利用可能



10

eラーニングの導入例 （ブレンディッド）

- 授業前に予習用の資料配布
- 授業前に前提知識確認用の小テストや課題
- 授業中または授業後に確認テストやアンケート
- 授業後にアンケートや課題提出

（さらには最近流行のキーワードとして）

- 反転学習 (flipped classroom)
- アクティブラーニング

11

eラーニングを何のために導入？

- 先生の負担軽減？
- 学生の学習意欲、学習効果を高める？
- 学習の定着率を高める？
- 自宅学習の実質化？
- きめ細かな指導？
- どのようなeラーニング（教育）がしたいのか？

12



moodleの基本的な使い方



- moodle
 - ✓ eラーニングシステムの1種（オープンソース）
 - ✓ 昭和大学を始め国内大学の約半数が利用
- ここでは下記の状態を仮定
 - ✓ 所属大学にmoodleが立ち上がっている
 - ✓ 使える状態になっている（ログインできる）
 - ✓ コース（授業用のページ）が与えられている

13

moodleの基本的な使い方



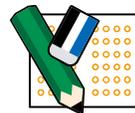
- コンテンツの作成や修正をするには・・・
 1. 編集モードに入る（編集モードから出る）
 2. 解説ページの作成
 3. ビデオの配信
 4. 小テストの出題
 5. いろいろな問題形式
 6. コンテンツの修正
 7. コンテンツの表示／非表示
 8. 学生の成績や履歴の確認

14

moodleの体験実習



- 以下にアクセスしてログイン
 - ✓ <https://e5.showa-u.ac.jp/pool13/>
- 体験実習の内容
 - ✓ 解説ページを修正する
 - ✓ 解説ページを作成する
 - ✓ 資料（ファイル）をアップする
 - ✓ 多肢選択式問題（MCQ）を作成する
 - ✓ 小テストを作成する



15

質疑応答および意見交換

終



金沢電子出版株式会社
Tel/Fax (076) 213-5525
e-Mail info@kepnet.co.jp

